

日本惑星科学会 2014 年秋季講演会プログラム

2014 年度日本惑星科学会秋季講演会実行委員会

●一般講演会

日時：2014 年 9 月 23 日(火・祝) 14:00～16:45

場所：東北大学片平さくらホール

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1

講演 1：題目：「はやぶさ 2」が拓く宇宙探査

講演者：國中 均 (宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所・教授)

講演 2：題目：「はやぶさ 2」が探る惑星科学

講演者：渡邊 誠一郎 (名古屋大学大学院
環境科学研究科・教授)

○ 9 月 25 日(木)

08:30 受付

09:00 口頭発表セッション 5 惑星形成 III

10:10 口頭発表セッション 6 表層進化・物質 I

11:30 昼食

12:30 ポスターセッション 2

13:30 口頭発表セッション 7 はやぶさ 2

14:50 口頭発表セッション 8 物質 II

16:30 総会

17:40 最優秀研究者賞特別講演

19:00 懇親会

●秋季講演会

日程：2014 年 9 月 24 日(水)～9 月 26 日(金)

場所：東北大学片平さくらホール

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1

口頭発表会場：2 階会議室

ポスター発表会場：1 階ラウンジ

会場へのアクセスは下記の秋季講演会ホームページ
をご参照下さい。

<https://www.wakusei.jp/meetings>

[/fall_meeting/2014/index.html](https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/2014/index.html)

講演数：口頭 107 件，ポスター 84 件

(最優秀研究者賞特別講演および

最優秀発表賞選考を含む)

○ 9 月 26 日(金)

08:30 受付

09:00 口頭発表セッション 9 月・内部構造

10:40 口頭発表セッション 10 隕石・実験

11:40 昼食

12:40 口頭発表セッション 11 衝突実験 I

14:00 口頭発表セッション 12 衝突実験 II・小天体

15:30 口頭発表セッション 13 ダスト・探査 I

16:40 口頭発表セッション 14 探査 II

●プログラム概要

○ 9 月 24 日(水)

08:30 受付

09:00 特別セッション 最優秀発表賞選考

10:40 口頭発表セッション 1 惑星大気

11:40 昼食

12:40 ポスターセッション 1

14:00 口頭発表セッション 2 系外惑星

15:10 口頭発表セッション 3 惑星形成 I

16:50 口頭発表セッション 4 惑星形成 II

●口頭発表プログラム

口頭発表の講演時間は特別セッション 15 分(3 分間の
質疑時間含む)，一般セッション 10 分(2 分間の質疑およ
び交代時間を含む)です。下記では講演開始時刻，講演
番号，和文表題，第一著者名を掲載しています(註)。

9 月 24 日(水)

08:30-08:55 受付

08:55-09:00 開催挨拶、連絡事項

特別セッション（最優秀発表賞選考）

（座長：小林浩）

- 09:00 S01 土星氷衛星の地質学的研究に基づくエンセ
ラダスとディオオーネの熱的再活性化の発見
平田直之(東大)
- 09:15 S02 真空下における粉体熱伝導率の空隙率依存
性測定実験と微惑星の初期熱進化への応用
坂谷尚哉(総研大)
- 09:30 S03 三次元観察と室内実験から探る GEMS の起源
松野淳也(京大)
- 09:45 S04 衛星形成の舞台となる周惑星円盤の形成・
進化について 藤井悠里(名大)
- 10:00 S05 レゴリス対流による小惑星表面更新のタイ
ムスケールの推定 山田智哉(名大)
- 10:15 S06 トロヤ群小惑星の L4-L5 間遷移現象の力学
的機構 大島健太(早稲田大)

10:30-10:40 休憩

口頭発表セッション1 惑星大気

（座長：杉山耕一朗）

- 10:40 O1-01 超高分解能赤外レーザヘテロダイン分光
器による惑星大気の連続観測 中川広務(東北大)
- 10:50 O1-02 火星極域の大気環境と二酸化炭素降雪：
天気予報の可能性 黒田剛史(東北大)
- 11:00 O1-03 火星ダスト巻き上げスキームの大気大循
環モデル DCPAM への実装及びダスト巻き上げフ
ラックス診断実験 萩原弘堯(北大)
- 11:10 O1-04 大気大循環モデルのための放射モデル開
発：同期回転惑星大気 大西将徳(神戸大)
- 11:20 O1-05 同期回転惑星大気の数値実験：昼夜間熱
輸送に関する検討 石渡正樹(北大)
- 11:30 O1-06 初期火星大気中の主成分凝結対流の二次
元数値実験 - 雲分布の凝結核数混合比に対する
依存性 - 山下達也(国土地理院)

11:40-12:40 昼食

12:40-14:00 ポスターセッション1

口頭発表セッション2 系外惑星

（座長：黒川宏之）

- 14:00 O2-01 すばる望遠鏡戦略枠観測「SEEDS」による
原始惑星系円盤および系外惑星探査
工藤智幸(国立天文台)
- 14:10 O2-02 A dynamical study on the habitability
of the exoplanet 40307g
ブラッサー ラモン(東工大)
- 14:20 O2-03 地球型水惑星の地表水分布と暴走温室限
界 新田光(東大)
- 14:30 O2-04 全球凍結状態にある系外地球型水惑星の
存在確率 門屋辰太郎(東大)
- 14:40 O2-05 巨大ガス惑星の雲層構造と放射冷却過程
高橋康人(北大)
- 14:50 O2-06 ヘイズを持つ系外惑星の大気透過スペク
トルモデル：温度および組成の鉛直分布の影響
川島由依(東大)

15:00-15:10 休憩

口頭発表セッション3 惑星形成 I

（座長：濱野景子）

- 15:10 O3-01 原始太陽系星雲ガス中で集積成長する火
星の混成型原始大気とその保温効果
齊藤大晶(北大)
- 15:20 O3-02 形成過程から探る短周期スーパーアース
の大気および内部構造 堀安範(UCSC)
- 15:30 O3-03 原始海洋組成の解明に向けて
玄田英典(東工大)
- 15:40 O3-04 周惑星ガス円盤中で形成する巨大氷衛星
の原始大気 三上峻(北大)
- 15:50 O3-05 周惑星ガス円盤中での微惑星軌道進化と
原始衛星への衝突確率 清水俊平(神戸大)
- 16:00 O3-06 氷ダストの捕獲を通じた原始惑星の水量
の進化 佐藤貴央(東工大)
- 16:10 O3-07 光学的に薄い円盤内での Type I 移動に
対するダストの影響 山田耕(早稲田大)
- 16:20 O3-08 原始惑星系円盤の散逸における中心星進
化の影響 國友正信(東工大)

16:30-16:50 休憩

口頭発表セッション4 惑星形成II

(座長：井田茂)

- 16:50 O4-01 微惑星サイズと乱流の関係
小林浩(名大)
- 17:00 O4-02 ハイブリッドコードによる惑星集積のシミュレーション 森島龍司(カリフォルニア大学)
- 17:10 O4-03 磁気乱流駆動の円盤風によって進化する原始惑星系円盤中での地球型惑星形成
荻原正博(コートダジュール天文台)
- 17:20 O4-04 デッドゾーン縁辺における木星型惑星コア形成 片山将文(名大)
- 17:30 O4-05 自己重力不安定な円盤における巨大ガス惑星の軌道進化 植田高啓(東工大)
- 17:40 O4-06 木星の共鳴による微惑星の軌道進化
長沢真樹子(東工大)
- 17:50 O4-07 マルチインパクトによる月と地球深海底の起源 種子彰(SEED SCIENCE Labo.)

9月25日(木)

口頭発表セッション5 惑星形成III

(座長：奥住聡)

- 9:00 O5-01 円盤磁気乱流中でのプラズマの電場加熱：磁気乱流強度とダスト成長への影響
森昇志(東工大)
- 9:10 O5-02 原始惑星系円盤内の圧力バンプにおけるダスト集積過程のダスト層の厚みによる違い
瀧哲朗(東工大)
- 9:20 O5-03 原始惑星系円盤の化学反応とH₂O スノーラインの分光観測による検出可能性
野津翔太(京大)
- 9:30 O5-04 回転不安定から考える原始惑星系円盤の外側領域の構造 小野智弘(京大)
- 9:40 O5-05 任意の不連続面に対応可能なSPH法の開発 山本智子(東工大)
- 9:50 O5-06 天体衝突シミュレーションコードの開発と、その岩石惑星における小天体衝突現象への適用 上田翔士(東工大)

10:00-10:10 休憩

口頭発表セッション6 表層進化・物質I

(座長：木村淳)

- 10:10 O6-01 星雲遭遇による白亜紀末の強い寒冷化
二村徳宏(岡山天文博物館)
- 10:20 O6-02 隕石重爆撃による原始金星の乾燥
黒澤耕介(千葉工大)
- 10:30 O6-03 隕石重爆撃期における大気散逸による火星大気と表層水の進化 黒川宏之(名大)
- 10:40 O6-04 後期重爆撃による冥王代大陸の消失可能性 芝池諭人(東工大)
- 10:50 O6-05 衝撃波によるギ酸およびアンモニアからのアミノ酸生成 古川善博(東北大)
- 11:00 O6-06 氷衛星および小惑星における有機化合物の生成と衝撃変成に関する実験的研究
兒玉賢哉(東大)
- 11:10 O6-07 地球外天体によるアミノ酸およびペプチドの供給の可能性 菅原春菜(JAMSTEC)
- 11:20 O6-08 生命の起源に関連する星間化学進化におけるロバスト分子 小林憲正(横浜国大)

11:30-12:30 昼食

12:30-13:30 ポスターセッション2

口頭発表セッション7 はやぶさ2

(座長：小林直樹)

- 13:30 O7-01 はやぶさ2が拓く惑星科学
渡邊誠一郎(名大)
- 13:40 O7-02 はやぶさ2搭載中間赤外カメラ TIR の科学観測計画 岡田達明(JAXA)
- 13:50 O7-03 はやぶさ2近赤外分光計による含水および脱水炭素質隕石の反射スペクトル測定
中村智樹(東北大)
- 14:00 O7-04 はやぶさ2分離カメラ(DCAM3-D)の開発状況とサイエンス 荒川政彦(神戸大)
- 14:10 O7-05 TIRによるSCI クレータ検出方法の検討〜クレータの熱進化モデル〜 千秋博紀(千葉工大)
- 14:20 O7-06 はやぶさ2搭載レーザー高度計による小惑星1999JU3のアルベド観測精度評価
山田竜平(国立天文台)
- 14:30 O7-07 はやぶさ2探査対象小惑星1999JU3のYORP効果 北里宏平(会津大)

14:40-14:50 休憩

口頭発表セッション8 物質II

(座長：中村智樹)

14:50 O8-01 はやぶさサンプルキャッチャーから回収された粒子の特徴 矢田達(JAXA)

15:00 O8-02 はやぶさ帰還試料コンソーシアム研究—最大粒子の3次元組織と形成過程

上楯真之(JAXA)

15:10 O8-03 かんらん岩および玄武岩高速衝突破片の3次元形状分布：はやぶさ粒子との比較

土山明(阪大)

15:20 O8-04 放射光X線を用いたイトカワ微粒子の鉱物学的研究 三河内岳(東大)

15:30 O8-05 炭素質隕石へのパルスレーザー照射によるC型小惑星における宇宙風化作用再現実験

松岡萌(東北大)

15:40 O8-06 太陽風による宇宙風化を模擬した照射実験試料の表面・内部構造の観察：小惑星イトカワ・月のレゴリス粒子との比較 松本徹(京大)

15:50 O8-07 層状珪酸塩鉱物における太陽風プロトンの影響：反射スペクトル形状の年代変化

仲内悠祐(総研大)

16:00 O8-08 ナノ秒パルスレーザー照射模擬実験による宇宙風化作用における硫化鉄の効果の検証

岡崎瑞祈(阪大)

16:10-16:30 休憩

16:30-17:30 総会

17:30-17:40 休憩

17:40-18:30 最優秀研究者賞特別講演

奥住聡(東工大)

18:30-19:00 休憩

19:00-21:00 懇親会

会場：さくらホールラウンジ

9月26日(金)

口頭発表セッション9 月・内部構造

(座長：鈴木昭夫)

9:00 O9-01 月高地地殻の化学組成を用いたマグマオーシャンの固化過程への制約 大竹真紀子(JAXA)

9:10 O9-02 月SPA盆地によって形成されたインパクトメルトプールの同定 上本季更(JAXA)

9:20 O9-03 観測衛星による分光画像および数値地形モデルを用いた衝突クレーター自動判別手法の開発 山本聡(環境研)

9:30 O9-04 かぐや/スペクトルプロファイラデータを閲覧・表示するためのWeb-GIS「月光」のユーザ拡大に向けて 小川佳子(会津大)

9:40 O9-05 水星のマンテル進化 小河正基(東大)

9:50 O9-06 形成期の水星におけるコア-マンテル間の硫黄の分配 笹森映里(北大)

10:00 O9-07 5GPaでのFe-S系の融解と月核への応用 赤松明香(東北大)

10:10 O9-08 高温高压実験から探るガニメデ核の構造・組成モデル 柴崎裕樹(東北大)

10:20 O9-09 Brillouin 散乱法を用いた地球核マンテル境界圧力条件までの δ -AlOOH 相の音速測定と地球・火星内部への適用 増野いづみ(東北大)

10:30-10:40 休憩

10:30-10:40 休憩

10:30-10:40 休憩

口頭発表セッション10 隕石・実験

(座長：中藤亜衣子)

10:40 O10-01 ダスト模擬物質形成過程の赤外スペクトル“その場”測定実験：星周シリケートの結晶化 石塚紳之介(東北大)

10:50 O10-02 非晶質フォルステライトと水蒸気の反応による含水鉱物形成実験 山本大貴(北大)

11:00 O10-03 タギシュレイク隕石中に見られるフランボイダルマグネタイトの形成過程

木村勇氣(北大)

11:10 O10-04 アエンデ隕石を用いた高温高压下における金属鉄-ケイ酸塩メルト間の炭素分配実験

朝原友紀(東北大)

11:20 O10-05 CVコンドライト隕石の水質変成と熱変成 小松睦美(総研大)

小松睦美(総研大)

11:30 O10-06 CV3 炭素質コンドライト隕石母天体の
集積時期と形成進化過程 城後香里(東北大)

11:40-12:40 昼食

口頭発表セッション11 衝突実験 I

(座長：和田浩二)

12:40 O11-01 C 型小惑星を模擬した焼結ガラスビー
ズ試料へのクレータ形成実験 岡本千里(神戸大)

12:50 O11-02 模擬低重力下における砂標的への低速
度衝突クレータ形成実験 木内真人(神戸大)

13:00 O11-03 高空隙率標的に形成される衝突キャビ
ティに関するスケーリング則：彗星表面への応用
岡本尚也(神戸大)

13:10 O11-04 氷地殻を模擬した氷・砂混合物に対する
高速度クレータ形成実験 高野翔太(神戸大)

13:20 O11-05 粉流体を伝播する衝突励起地震に関す
る実験的研究 II 松榮一真(神戸大)

13:30 O11-06 粒子径分布と形状がレゴリス層の空隙
率に及ぼす影響についての実験的研究
大村知美(神戸大)

13:40 O11-07 低密度天体への脆性衝突体の挙動に関
する実験的研究 原田竣也(神戸大)

13:50-14:00 休憩

口頭発表セッション12 衝突実験II・小天体

(座長：保井みなみ)

14:00 O12-01 イジェクタ構成粒子の空間密度分布お
よび光散乱特性がイジェクタカーテンの輝度分布
に与える影響 プティヤベティル シャリマ
(インド天体物理学研究所)

14:10 O12-02 高速度域におけるクレータエジェク
タ速度のスケール則に関する実験的研究
辻堂さやか(神戸大)

14:20 O12-03 衝突破片形状の実験的研究と小惑星
イトカワの岩塊の形状 道上達広(近畿大)

14:30 O12-04 ラブルパイル小衛星の衝突破壊による
土星Fリングの形成 兵頭龍樹(神戸大)

14:40 O12-05 あかり衛星によるケンタウルス天体と
TNOsの低温熱放射観測 関口朋彦(北教大)

14:50 O12-06 小惑星(704)Interamnia の立体形状
佐藤勲

15:00 O12-07 チェリャビンスク火球からの光放射
柳澤正久(電通大)

15:10 O12-08 大気中形成の炭素含有粒子の特徴：大
気中ダスト、ロシア落下隕石と月隕石
三浦保範(山口大)

15:20-15:30 休憩

口頭発表セッション13 ダスト・探査 I

(座長：大坪貴文)

15:30 O13-01 IKAROS-ALADDIN が発見した地球周
太陽ダストリング中の大型宇宙塵の粗密分布
平井隆之(JAXA)

15:40 O13-02 大型レーダ流星ヘッドエコー観測によ
る太陽系ダストの観測 阿部新助(日大)

15:50 O13-03 流星観測衛星 S-CUBE のミッション紹介
と開発進捗報告 石丸亮(千葉工大)

16:00 O13-04 BepiColombo 日欧共同水星探査ミッ
ション：MMO プロジェクト最新状況報告
早川基(JAXA)

16:10 O13-05 JUICE 木星系探査が拓く科学
佐々木晶(阪大)

16:20 O13-06 木星圏探査機 (JUICE) 搭載サブミリ
波分光計の開発と科学目標 笠井康子(NICT)

16:30-16:40 休憩

口頭発表セッション14 探査II

(座長：菊池冬彦)

16:40 O14-01 深宇宙探査技術実証機 DESTINY
川勝康弘(JAXA)

16:50 O14-02 深宇宙探査技術実験機 DESTINY によ
る太陽系探査 岩田隆浩(JAXA)

17:00 O14-03 火星着陸探査技術実証ミッション
藤田和央(JAXA)

17:10 O14-04 火星表面での生命探査：LDM 生命探査顕
微鏡開発の現状報告 山岸明彦(東京薬大)

17:20 O14-05 火星ローバのナビカメラによる地質探
査 佐藤毅彦(JAXA)

- 17:30 O14-06 音波を利用した火山湖探査
佐伯和人(阪大)
- 17:40 O14-07 熱流量ブローブを用いた月惑星表層レ
ゴリスの熱伝導率に対する精度評価
堀川大和(総研大)
- 17:50 O14-08 月の縦孔・地下空洞探査-UZUME 計画の
ミッションとシステムの構想 春山純一(JAXA)

●ポスター発表プログラム

ポスターは1日目朝からポスターセッション2(2日
目のポスターセッション)終了時まで掲示できます。下
記では発表番号, 和文表題, 第一著者名をコアタイム毎
に掲載しています。ポスターは2日目の口頭発表セッシ
ョン7開始前までに撤収して下さい(註)。

ポスターセッション1: 1日目 (9/24)

12:40~14:00

- S01 土星氷衛星の地質学的研究に基づくエンセラダス
とディオオーネの熱的再活性化の発見
平田直之(東大)
- S02 真空下における粉体熱伝導率の空隙率依存性測定
実験と微惑星の初期熱進化への応用
坂谷尚哉(総研大)
- S03 三次元観察と室内実験から探る GEMS の起源
松野淳也(京大)
- S04 衛星形成の舞台となる周惑星円盤の形成・進化に
ついて 藤井悠里(名大)
- S05 レゴリス対流による小惑星表面更新のタイムスケ
ールの推定 山田智哉(名大)
- S06 トロヤ群小惑星の L4-L5 間遷移現象の力学的機構
大島健太(早稲田大)
- P1-01 木星型惑星を想定した雲対流の数値計算
杉山耕一朗(JAXA)
- P1-02 ASTE 望遠鏡を用いた、木星成層圏微量分子のサ
ブミリ波帯分光観測の初期成果
飯野孝浩(東京農工大)
- P1-03 Venus GCM への金星硫酸雲生成・消失と大気化
学過程の導入(1) 伊藤一成(東北大)
- P1-04 ピリカ望遠鏡および VMC/VEX を用いた紫外撮像
による金星スーパーローテーション周期とその
時間発展の観測 今井正堯(北大)

- P1-05 短周期地球型惑星の大気構造と放射スペクトル
伊藤祐一(東大)
- P1-06 マグマオーシャンに覆われた惑星の光度進化曲
線とその検出可能性 濱野景子(東大)
- P1-07 地球型惑星が持つ水量と表層環境: 海惑星にお
ける炭素循環 中山陽史(東大)
- P1-08 ホットネプチューンの水素ヘリウム大気量推定
における内部組成分布の影響 黒崎健二(東大)
- P1-09 講演キャンセル
- P1-10 巨大ガス惑星の熱進化: 重元素分布の不均質性
と二重拡散対流の影響について
黒川宏之(名大)
- P1-11 巨大惑星による原始惑星系円盤ギャップの形
成: ギャップ構造と密度波の減衰
金川和弘(北大)
- P1-12 内縁進化を考慮した原始惑星系円盤の粘性進化
今枝佑輔(東工大)
- P1-13 ずれ境界条件を導入した高次精度 MHD シミュレ
ーションコードの開発と磁気回転不安定性の非
線形発展に関する計算機実験
平井研一郎(東北大)
- P1-14 原始惑星系円盤における有機物粒子の時空間変
化 沼田実徳(東大)
- P1-15 原始惑星系円盤における水氷の吸収帯に表れる
光脱離反応の効果 高附翔馬(東工大)
- P1-16 モノマーサイズ分布のあるダストアグリゲイト
の衝突とイジェクタ量 和田浩二(千葉工大)
- P1-17 層流円盤におけるダストの沈殿成長過程で生じ
るレイリー・テイラー不安定性
石津尚喜(国立天文台)
- P1-18 周惑星粒子円盤の進化と衛星系の多様性
兵頭龍樹(神戸大)
- P1-19 捕獲された微惑星の周惑星円盤内での分布
末次竜(神戸大)
- P1-20 分子雲に埋もれた星団および散開星団における
惑星の生存率 堀安範(UCSC)
- P1-21 巨大衝突での衝突に伴う原始惑星の離心率減衰
松本侑士(国立天文台)
- P1-22 木星摂動による SERRA 潮汐分裂仮説とマントル
分裂片地球衝突による月形成のメカニズム
種子彰(SEED SCIENCE Labo.)

- P1-23 空間量子赤方偏移仮説と新定常宇宙論
種子章(SEED SCIENCE Labo.)
- P1-24 粒子線照射による種々の組成の模擬星間物質からのアミノ酸前駆体生成 松田知之(横浜国大)
- P1-25 星間有機物の亜臨界・超臨界水中における水質変成過程 松原康浩(京教大)
- P1-26 氷衛星における生命構成物質の重合反応
木村淳(東工大)
- P1-27 はやぶさ 2 搭載近赤外分光計 NIRS3 のフライトモデル性能 岩田隆浩(JAXA)
- P1-28 はやぶさ 2 搭載中間赤外カメラによる隕石の測定 荒井武彦(JAXA)
- P1-29 はやぶさ 2 搭載小型ランダMASCOTの観測計画 岡田達明(JAXA)
- P1-30 はやぶさ 2 レーザ高度計による小惑星周辺ダスト検出の試み 押上祥子(国立天文台)
- P1-31 はやぶさ 2 における Structure-from-Motion 法による小惑星形状推定手法の適用性の検討
平田成(会津大)
- P1-32 1999 JU3 の衝突確率とクレーター年代学関数の構築 安藤滉祐(名大)
- P1-33 アグリゲート型イトカワ粒子の三次元構造解析
矢田達(JAXA)
- P1-34 火星隕石 Tissint に含まれる硫化鉄中の鉛同位体不均質 森脇涼太(東工大)
- P1-35 加熱実験生成物の鉱物学的・酸素同位体的変化に基づく加熱脱水炭素質隕石形成過程への示唆
中藤垂衣子(JAXA)
- P1-36 CM 炭素質コンドライトの岩石学的特徴に基づいた C 型小惑星の水質変成による物質進化過程
仲田愛里(東北大)
- P1-37 コンドリュールの強度とコンドライトの圧縮過程に関する実験的研究 紫垣沙央(神戸大)
- P1-38 浮遊法による全溶融した放射状輝石コンドライトの再現実験 野村逸郎(東北大)
- P1-39 アエンデ隕石中コンドライトの 3 次元外形と内部組織の分析 中本泰史(東工大)
- ポスターセッション 2: 2 日目 (9/25)
12:30~13:30
- P2-01 「かぐや」等最新データを基にした新しい月地質図作成プロジェクト 大竹真紀子(JAXA)
- P2-02 月表層誘電率の全球分布 熊本篤志(東北大)
- P2-03 かぐやレーダーサウンダー観測データに基づいた雨の海の地下構造の研究 石山謙(東北大)
- P2-04 ポシドニウスクレーターの構造と地質解釈
石原吉明(JAXA)
- P2-05 月面 swirl 地域における主要鉱物分布と風化過程への制約 ~Mare Ingenii 地域を中心に~
小川佳子(会津大)
- P2-06 かぐやMI データを用いた光学関数の再考
小林直樹(JAXA)
- P2-07 月の初期における膨張過程と火成活動
澤田なつ季(名大)
- P2-08 20 億年前に発生したスーパーブルームに伴う月面地形の変形 加藤伸祐(名大)
- P2-09 月の衝突盆地の放出物厚モデルにもとづくメガレゴリス厚分布 諸田智克(名大)
- P2-10 GRAIL 衛星重力データを用いた月の地殻形成過程についての考察 山本圭香(JAXA)
- P2-11 高圧での月の高 Ti 玄武岩の熔融関係
五十嵐愛子(東北大)
- P2-12 高圧下における月マグマの粘度
鈴木昭夫(東北大)
- P2-13 アポロ月震計による走時データと最新の測月データから推定される月深部構造
松本晃治(国立天文台)
- P2-14 月面クレータから見た過去 10 億年の天体衝突史 加藤麻美(名大)
- P2-15 月と水星のクレーター空間分布の定量的解析
伊東里保(会津大)
- P2-16 衝突実験に基づいたクレーター周辺のバルク密度と誘電率の測定 石山謙(東北大)
- P2-17 石膏の衝突破壊強度に対する複数回衝突の影響
保井みなみ(神戸大)
- P2-18 チェリアビンスク隕石大気突入の数値シミュレーション 高田淑子(宮教大)
- P2-19 C 型小惑星表面物質を模擬した有機物混合試料の光散乱測定 藤原彩香(会津大)

- P2-20 小惑星のラフ表面モデルと温度場に対する影響の評価 滝田隼(東大)
- P2-21 小惑星ベスタの熱進化の数値シミュレーション 野上竜彦(名大)
- P2-22 Sub-km サイズ地球近傍小惑星 2011 XA₃ の高速自転 II 浦川聖太郎(美星スペースガードセンター)
- P2-23 すばる望遠鏡によるメインベルト小惑星のライトカーブ観測 吉田二美(国立天文台)
- P2-24 木星トロヤ群小惑星の軌道安定性について 岡山博明(神戸大)
- P2-25 オールト雲起源新彗星の力学進化 伊藤孝士(国立天文台)
- P2-26 オールト雲の構造の進化と寿命 樋口有理可(東工大)
- P2-27 土星リング中での小粒子の重力集積による小衛星形成 安井佑貴(神戸大)
- P2-28 土星 A リングの太陽春分における不完全冷却とそこから推察されるリング粒子の内部構造 森島龍司(カリフォルニア大)
- P2-29 「あかり」遠赤外線拡散光全天マップに見られる黄道光微細構造 大坪貴文(東大)
- P2-30 JUICE-JAPAN WG 木星氷衛星探査計画 - JUICE-GALA レーザ高度計 - 並木則行(国立天文台)
- P2-31 JUICE 搭載多バンド分光カメラ「JANUS」ミッション 春山純一(JAXA)
- P2-32 将来の惑星探査に向けた小型放射線分光装置の提案 長岡央(早稲田大)
- P2-33 イオンビームによる月面反射鏡の精密加工に関する研究 相原寛樹(千葉工大)
- P2-34 月面コーナーキューブミラーの製造及び高精度角度測定方法の検討 鹿島伸悟(国立天文台)
- P2-35 地上局用広帯域・広域受信機システムの開発 菊池冬彦(国立天文台)
- P2-36 イプシロンロケットを用いた月探査の課題 村上英記(高知大)
- P2-37 火星探査における K-Ar 年代測定対象試料の検討 三浦弥生(東大)
- P2-38 K-Ar 年代その場計測法の開発: アイソクロンデータの詳細解析 長勇一郎(立教大)
- P2-39 K-Ar 年代測定のための、真空紫外 LI BS を用いた Ar イオン輝線検出実験 芝崎和夫(立教大)
- P2-40 固体天体の内部構造探査に向けた岩石の比誘電率の計測 小熊みどり(東大)
- 註)
- 1) プログラムの詳細は日本惑星科学会のホームページに記載されております。下記アドレスをご参照下さい。
https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/2014/program.html
- 2) プログラムに関するお問い合わせは、秋季講演会 LOC (下記メールアドレス) へお願いします。
a1oc@wakusei.jp